

◇ 国 語

国6-1～国6-16まで16ページあります。

※一般入試AⅡ（2月8日実施）国語 第一問につきましては、著作権の都合上、
割愛させていただきます。

問五 傍線部(c)・(d)の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選べ。

(c) 敬虔な

① うやまい、つつしむ

② おどろき、賞賛する

26

③ 恥じらい、おそれる

④ 感心し、親しむ

⑤ 熱中し、のぼせる

(d) 敷衍する

① 吟味して割愛する

② おし広げて説明する

27

③ 意図的に無視する

④ 一部分を分析する

⑤ 恣意的に解釈する

問六 傍線部(一)「お花見」という風情とは、どういうことを言っているのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

① 桜の花が咲いているのを眺め、その美しさを愛でて楽しもうとする様子

28

② 桜の木を話の種として、見知らぬ人とも歓談をして打ち解けようとする様子

③ 家族で桜にちなんだ催し物を見物し、お祭り気分を満喫しようとする様子

④ 桜の花の下で酒を飲み、仕事仲間や友人との絆をいつそう強めようとする様子

⑤ 春の景色を觀賞し、様々な種類の木々や草花から季節を感じ取ろうとする様子

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

年が明けて、少しずつ朝夕の暖かさが増してくる春先になると、日本人にとっては「年中行事」のひとつとみなしてよいだろう出来事がある。それは桜——ソメイヨシノ（染井吉野）の花を愛でること、すなわち花見である。

毎日、開花日と満開日が地方ごとに予想され、そして実際にどうであったかが、テレビや新聞などメディアのニュースとなっていることに、私たち日本人のほとんどは何の違和感も覚えることがない。

アメリカの首都、ワシントン（コロンビア特別区／District of Columbia）の郊外に、ほぼ八年にわたって住んだ私は、毎年春、四月の初めの日曜日に催されるサクラ・フェスティバルを見物に出かけたし、あるいはタイダル・ベースン（Tidal Basin）という入り江の周囲を彩る桜花を、夜に出かけて、日本流にいうならば夜桜見物を楽しんだものだった。タイダル・ベースンは、ほとんど池の形をしているのだが、すぐ近くを流れるポトマック川（Potomac River）と一部つながっているので、「池」と呼ばれていないのである。このタイダル・ベースンには、アメリカ人も多く来ていた。

また、ミス・サクラに選ばれた若い女性が先導するオープンカーの上から手を振りながら、パレードの行列が通るのを東西にのびる広いコンステイテーション・アヴェニューの両側にたくさんの人びとが陣取って拍手をしたりしながら家族で見物していたものだった。

ただ、私たち日本人と違うのは、アメリカの人たちは誰も「お花見」という風情を抱いてはいなかったように、私には見えたことだった。

このこととの関わりで、私にとって忘れられないのは、アメリカ人だけでなく、ヨーロッパ文明の中に生まれ育った人びとが共通に抱く、植物の美しさに対する概念キティが、日本人と大きく異なることを自覚させられた時のことである。

かつて私は、NASA（アメリカ航空宇宙局）ゴダード宇宙飛行センター（GSFC）にあって、太陽面上の高エネルギー現象や、電波天文学に関わったことがらについて研究していた。センター^Bコウナイの、私が所属する研究棟の入口正面の外側に、

日本では当時珍しかったパンジー（三色すみれ）が植えられていた。それらが一杯に色とりどりに花開いていたのが、私にはとてもきれいに感じられた。一九六九年春先のことであった。

その咲き誇る花の美しさに魅力を感じ、私はその花々を写真に撮っていたのだった。するとその時、研究室の秘書だったマーフィー嬢 (M. Murphy) が通りかかり、何をしているのかと私に尋ねた。

「あまりにきれいなので写真を撮っているのだ」と私の返事に対し、彼女はモウゼンと（こんな表現は失礼かもしれないが）、⁽¹⁾「こんな花はちつともきれいいじゃない」といった後、それに対する「なぜ？」という私の質問に「きれいな花はもつと別のところにある」というような返事をしてきたのだった。

例えば、手をかけた育種事業の結果、作り出された多彩な色合いのチューリップやダリアなどが美しいのだというのである。私にとっては予想外の返事だったので、このように語った彼女の顔や服装まで、私の目の奥に焼き付いているのである。

このマーフィー嬢だけでなく、欧米の知的伝統の下に生まれ育った人たちと私との間には、⁽²⁾自然に対する接し方や見方について、完全には互いに理解しえない溝が横たわっていることが私には大変衝撃的な出来事であった。彼女にとって、草花に対する美の基準は、人の手がどれだけかかっているかにある、とされているようであった。

また、研究室の同僚として、いろいろなことについて語り合ったケイン (J. Kane) 博士が、私に向かって、日本人は例えばゴミの堆積を見ながらその中にも美を見出す民族なのだと言ってくれたことも、今に到るまで記憶に残っている。彼はN A S Aを退職した後、東洋のどこかに住みたいと欲していたが、実際にセイロン島に行き、住み着いてしまった。

私たち日本人の多くにとって、桜の花は、いろいろな木や草の花の中で特別な意味を占めている。楠木正成のものとされる「花は桜木、人は武士」という表現があるが、日本人の生き様や心には ア に桜が深く刻み込まれている。とくに、桜の花の散り際のみごとさが武士の道徳面での イ とつながっているものとされた面があったのだろうと考えられる。

私を含めた日本人の多くは、周囲に広がる自然環境に抱かれているのだと実感し、自然に対し、それを何とかしようというようないふな、いふなればセイブクへの意欲を駆り立てられるようなことがない。

私の場合は、農家に生まれ育ったことから、いろいろな栽培植物に対し敬虔な気持ちを抱き、また飼養していた動物たちを互いに心を通わす仲間や分身のように感じてきた。

このことを敷衍することが許されるならば、私たち日本人にとっては、周囲に広がる自然は私たちの心を許し、私たちを抱く存在なのであって、セイフクしたり、作りかえたりする試みの対象とはなりえない存在なのである、と云ってよいであろう。

どのような生命も、それが存在する環境から離れて独立に生を営んでいるわけではない。生命と環境とのつながりというか、その生態パターンは、すべての生命が相互に何らかのつながりを持っている。このパターンは、生命の維持にとって不可欠である。

私たち一人ひとりはいかなれば、地球上に棲息するすべての生命と、何らかのつながりを持っている。そうして、周囲に広がる環境との相互作用を通じて、私たち一人ひとはそれぞれの生き様というか、人生に立ち向かっていく動機を与えられているのだ、といえよう。

日本人は、自分の周囲に広がる自然に抱かれた存在であることを強く感じており、自然と一体となって、すなわち自然環境の中で生活を営むということが、ごく当たり前のこととされているのである。

こうした日々の営みの中で育まれた文化は日本コユウのもので、この日本の文化から導かれた「文明」は、世界の他の文明に比してきわめて強い **ウ** を持ったものとして受け止められている。

〔桜井邦朋『日本人の知的風土』による〕

問一 傍線部A・B・C・D・Eと同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

A キ|テ|イ

- ① 問題|を|テ|イ|キ|する
- ② 刺身|テ|イ|シ|ョ|ク|を|食|べ|る
- ③ 条|約|を|テ|イ|ケ|ツ|する
- ④ 花|束|を|ゾ|ウ|テ|イ|する
- ⑤ テ|イ|チ|ョ|ウ|に|断|る

16

B コ|ウ|ナ|イ

- ① 通|信|コ|ウ|ザ|に|申|し|込|む
- ② コ|ウ|リ|ツ|良|く|仕|事|を|す|る
- ③ 新|しく|建|つ|た|コ|ウ|シ|ャ
- ④ 小|説|の|コ|ウ|ソ|ウ|を|練|る
- ⑤ け|が|の|コ|ウ|ミ|ョ|ウ

17

C モ|ウ|ゼ|ン

- ① ホ|ウ|イ|モ|ウ|を|突|破|す|る
- ② 体|力|を|シ|ョ|ウ|モ|ウ|す|る
- ③ モ|ウ|シ|ョ|に|見|舞|わ|れ|る
- ④ 取|る|に|足|ら|ぬ|モ|ウ|セ|ツ
- ⑤ モ|ウ|テ|ン|を|突|く

18

D セ|イ|フ|ク

- ① フ|ク|ス|イ|盆|に|返|ら|ず
- ② キ|フ|ク|に|富|ん|だ|人|生
- ③ フ|ク|シ|ュ|ウ|ニ|ュ|ウ|を|得|る
- ④ フ|ク|イ|ン|を|も|た|ら|ず
- ⑤ 薬|を|フ|ク|ヨ|ウ|す|る

19

E コ|ユ|ウ

- ① 血|液|が|ギ|ョ|ウ|コ|す|る
- ② ジ|コ|顕|示|欲|が|強|い
- ③ コ|セ|イ|を|重|視|す|る
- ④ 車|が|コ|シ|ョ|ウ|す|る
- ⑤ コ|キ|ョ|ウ|を|思|い|出|す

20

問二 空欄 ア・イ・ウ に入る最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

ア ①学問的 ②暫定的 ③芸術的 ④歴史的 ⑤本質的 21

イ ①気高さ ②潔いさぎよさ ③激しさ ④はかなさ ⑤優しさ 22

ウ ①宗教性 ②社会性 ③合理性 ④普遍性 ⑤特異性 23

問三 傍線部 (a) 「自然」とあるが、「自然の景色の美しさ」を表す四字熟語を、次の①～⑤の中から一つ選べ。

①落花流水 ②明鏡止水 ③月下氷人 ④山紫水明 ⑤森羅万象 24

問四 傍線部 (b) 「武士」とあるが、「武士」を含むことわざとして誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

①武士は相身互い ②武士に二言はない ③武士の白袴しろはかま 25

④武士は食わねど高楊枝たかようじ ⑤武士の情け

問七 傍線部(二)「こんな花はちつともきれいなじゃない」とあるが、マーフィー嬢がこのように述べたのはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

29

① 色鮮やかなパンジーは、桜のような淡い美しさをたたえておらず、日本人が賞賛するのにふさわしい花ではないと考えているから。

② 花の美しさは場所との調和によるところが大きく、殺風景な研究所に植えられたパンジーは賞美するに足らないと考えているから。

③ 品種改良を重ねて生み出された新種の花々と比べると、ありふれたパンジーの花には特に見るべきところがないと考えているから。

④ 研究所に植えられたパンジーは手入れが十分に行き届いておらず、パンジー本来の美しさを十分に発揮できていないと考えているから。

⑤ 人工的に作り出されたパンジーの色合いは、山野に咲いているダリアやチューリップの鮮やかさに遠く及ばないと考えているから。

問八 傍線部(三)「セイフクしたり、作りかえたりする試み」の具体例として最もふさわしくないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

30

① サーカスでライオンやゾウを調教し、ショーを催して客の前で芸を披露させる。

② サング礁のある島を一部埋め立て、ホテルなどを建設してリゾート開発を行う。

③ 遺伝子の組み換えによって害虫に強い農作物を作り出し、収穫量を上げる。

④ 太陽光を太陽電池によって電力に変換し、ソーラーカーが走れるようにする。

⑤ 抗生物質の入った人工飼料を与え、寄生虫のつかない鮭を養殖する。

問九 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

31

- ①日本人と欧米人とは草花に対する美の基準に大きな隔たりがあるが、その一方で自然に親しみを感じて生きてきたという点においては共通性が認められる。
- ②日本人は自然環境とのつながりを常に意識してきた民族であり、そうした生活の中で自然に対する美意識や日本独自の文化が形成されてきた。
- ③日本人は桜に対して特別な思い入れを持っているが、今後は特定の植物に固執することなく、人間をとりまく自然環境そのものに意識を向けるべきである。
- ④日本人は欧米人とは違ってあるがままの草花を美しいと感じる傾向があるが、その背景には自然との共生関係を重視する仏教文化圏ならではの価値観が存在している。
- ⑤日本人は古来より自然環境から多くの恩恵を受け、そのことに感謝しながら生きてきたが、近年では自然そのものに対する興味が失われてしまった。